

地域・

産学官



新学部設置に向けて始動!! 企業とつくる大学教育プログラム

「グリーン・デジタル産業分野教育協議会」を開催

12月24日、本学は、新学部「先端グリーン・デジタル理工学部(仮称)」の令和9年設置に向けて、産学連携の具体的な取り組みとして「グリーン・デジタル産業分野教育協議会」を立ち上げ、第1回の協議会を実施しました。地域の企業や産業界から26社が参加し、貴重な意見をいただきながら、成長が見込まれる分野で活躍できる人材を育成するための教育カリキュラムの策定や大学の新たな役割について議論を行いました。



新キャンパス▶
サスティナブル・スマート・キャンパスイメージ図

NTTドコモ・NXTECとカーボンニュートラルの実現をめざし基本合意書を締結



11月12日、本学は、株式会社NTTドコモ、NTTデバイステクノロジー株式会社との間において、長崎市の協力のもと2030年のカーボンニュートラルの実現をめざし、太陽光パネルから発電した電力を基地局に供給するための直流1200V級高効率電力変換器と、高効率なエネルギー管理を実現する協調制御技術の開発及び実用化に向けた実証実験と実証事業に関する基本合意書を締結いたしました。このプロジェクトの成果が、全国的なエネルギーソリューションのモデルとして活用されることを目指して取り組みます。

南島原市と脱炭素社会の構築をめざし連携協定を締結



6月6日、本学は、南島原市との協力関係を一層強化し、2050年のカーボンニュートラルの実現をめざすとともに、活力ある豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的として、連携協定を締結しました。デジタル技術を活用し、エネルギー消費の最適化を図りながら、カーボンニュートラルの実現に向けた多様な分野での協力を推進します。

ニチコン株式会社と共同研究講座を開設



10月1日、本学は、大手電子部品メーカーとしてリードするニチコン株式会社と連携し、EMS(エネルギー管理システム)の開発および電力変換装置の高効率化/制御システムの開発に向けた「未来志向グリーンエネルギー変換ニチコン共同研究講座」を開設しました。この研究講座では、本学が蓄積したグリーン・エネルギー・マネジメントシステムに関する研究成果を基に、次世代のグリーンエネルギー変換技術の研究開発を共同で進め、社会への貢献を図ります。また、この取り組みを通じて、学生や若手研究者の育成を促進し、新たな研究拠点の形成を目指します。

東部重工業株式会社と包括連携協定を締結

11月18日、本学は、荷役作業機械の専門メーカーである東部重工業株式会社と協力し、地域社会の発展を目指す包括的な連携協定を締結しました。この協定に基づく最初の取り組みとして、共同研究講座を設立し、産業分野における研究や高度な人材育成を推進します。この連携を通じて、学生に最新の産業技術に触れる機会を提供します。



株式会社ディーソールおよび株式会社ディーソールNSPと包括連携協定を締結



11月27日、本学は、株式会社ディーソールおよび株式会社ディーソールNSPとの間で、地域社会の発展に貢献することを目的として包括連携協定を締結しました。この協定により、学生は最先端技術に触れる機会を得ることができ、ディーソールのITソリューションや佐世保市にあるデータセンターのインフラが、インターンシップを通じて学生の高度なITスキルの向上に寄与し、明るい未来を築くための原動力となることを期待されます。

令和6年度第2回産学官金連携サロンの紹介

11月1日(公財)長崎県産業振興財団の協力のもと産業界との連携が進むようセミナーと交流会をセットにした産学官金連携サロンを開催しました。セミナーの部では、本学発のAI研究をテーマに3人の先生方が登壇。田中雅晴准教授から「AI応用研究センターの紹介。AI・IoTの応用とその課題」、佐藤雅紀教授から「ロボット技術を活用したスマート二次産業を目指して」、古野弘志准教授から「古典的な理論やCAEによるシミュレーションを代替するAIを用いた次世代の設計手法の開発」船体接水防振パネルの固有振動数評価を「例に」をテーマに講話。当日は県内外の企業より55名の参加がありました。交流会の部では、登壇した先生方を企業の開発担当者らを取り囲み熱心な技術談義が交わされ、盛況に終了しました。

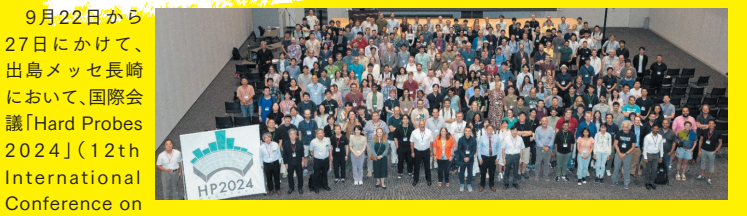
講演会

建築家・塚川譲 長崎講演会 「土地の声を聴きながら建築をつくる」



11月22日、本学の地域科学研究所と(公社)JIA九州支部長崎地域会が共催した「建築家・塚川譲 長崎講演会」土地の声を聴きながら建築をつくる」が長崎県美術館にて行われ、約100名の参加者が集まりました。講演者は建築家の塚川譲氏(株式会社日本設計)で、国内外でのコンペティションに関する経験や建築設計への取り組み、特に2016年4月の熊本大地震による大きな被害を受けた特別史跡熊本城跡における熊本城特別見学通路の設計について話しいただきました。このプロジェクトは、被災地の復旧過程を安全に見学できる通路を設けるといふ、世界的にも類を見ない挑戦であり、その成功について詳しく説明していただき、参加者に深い理解を促しました。

国際会議Hard Probes 2024を開催



9月22日から27日にかけて、出島メッセ長崎において、国際会議「Hard Probes 2024」(12th International Conference on Hard and Electromagnetic Probes of High-Energy Nuclear Collisions)が長崎総合科学大学、筑波大学、上智大学の共催により開催され、世界各国から約350名が参加しました。会議は本学の大山健教授(副学長)と板倉数記教授(共通教育部門)が共同議長として運営し、大学院生が運営スタッフとして参加しました。会議では、宇宙の誕生直後に存在したクォーク・グルーオン・プラズマの状態を地球上で再現するための「高エネルギー重イオン衝突実験」に関する多くの研究成果が発表され、活発な議論が展開されました。



第13回再生可能エネルギー研究応用国際会議を開催

11月9日から13日まで、本学が共催した「第13回再生可能エネルギー研究応用国際会議(International Conference on Renewable Energy Research and Applications 2024, ICRERA 2024)」が出島メッセ長崎にて開催され、米国電気電子学会IEEEや電子情報通信学会、電気学会など、世界中の大学や企業から743名の研究者と技術者が参加しました。会議では363件の発表が行われ、34社の国内外企業が出展しました。黒川不二雄学長が委員長を務め、本学の大学院生および学部生がポスターセッションの発表や運営に参加しました。政府が推進するカーボンニュートラルの実現に向けて、デバイス、機器、システムに関する包括的な解決策が議論されました。



国際連携

中華人民共和国 駐日本国大使館科学技術部 祝学華公使参事官が訪問

6月6日、中華人民共和国駐日本国大使館の科学技術部から祝学華公使参事官が本学を訪問されました。懇談の後、スマートパワー研究室、ENR(ウズ、船舶溶接・塗装シミュレータ、バイオマス研究施設などの各研究施設を視察されました。今後も協定校を含めた中国との友好交流が一層深まることを期待されます。



西華大学(中国・四川省)と交流協定を締結

7月3日、本学は中国の四川省にある西華大学と、学術及び教育分野での協力を強化し、友好関係を深めるための協定締結しました。この協定により、海外留学の促進やダブルディグリー、教職員の交流など、両大学の関係がさらに深まることを期待されています。



広州理工大学院(中国・広東省)と学術交流協定を締結

12月9日、黒川不二雄学長をはじめとする6名は、中国広東省広州市に位置する広州理工大学院を訪問し、胡社军学長および黄南松副学長、ならびに関連部門の責任者と

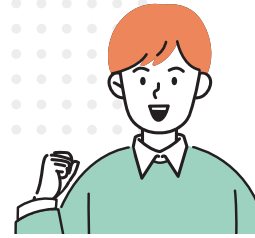


会談しました。この会談では、学術交流と学術研究における相互の活動を促進するための共同協力を目的とした学術交流協定が締結されました。

臨沂大学(中国・山東省)と学術交流協定を締結

12月11日、黒川不二雄学長を含む6名が中国山東省臨沂市にある臨沂大学を訪れ、張书圣学長および李雪梅副学長と会談しました。この会談では、教員や学生の相互訪問、学生の研修、専門職の育成、科学研究における協力について合意し、学術交流に関する協定が締結されました。





NiAS Times



令和6年度 大学院後期入学式

9月25日、本学のグリーンヒルキャンパスで大学院後期入学式を執り行いました。工学研究科修士課程環境計画学専攻に入学したダブガツェレン・ムンフツェツェグさんは、「私は日本の大学院に進学し、日本とモンゴルの教育交流を目指し、来日しました。本学の別科日本語研修課程で日本文化や長崎の歴史を学び、大学院進学を決めました。本学の大学院は、環境や教員の専門性が高く、私の成長と学びの意欲を引き出してくれます。現在はARTISOCを使ってシミュレーション制作を学びながら、長崎の歴史についても学んでいます。」と話してくれました。

令和6年度前期 大学学部卒業式・大学院学位記授与式



9月25日、本学グリーンヒルキャンパスにおいて、令和6年度前期大学院修士課程学位記授与式および工学部・総合情報学部の卒業証書授与式を執り行いました。黒川 不二雄学長は式辞の中で、「これまで学生として過ごされた皆さんが、これからは社会人として、本学の多くの卒業生や修了生と共に社会に貢献していくことを期待しています。また、卒業後も本学とのつながりは続き、大学同窓会や教職員が皆さんを支えますので、充実した人生を歩んでいただけることを願っています。」と述べました。

OPEN CAMPUS 2024を開催

7月21日、8月25日、9月15日の3日間にわたり、本学のグリーンヒルキャンパスおよびシーサイドキャンパスにて「OPEN CAMPUS 2024」を開催しました。今年度のオープンキャンパスでは、ドローンや水中ロボットの操縦体験、模擬講座、さらには楽しいプログラミング体験など、さまざまな学部コースのイベントを用意しました。また、学部コースイベントや入試説明会、相談コーナーに参加し、



スタンプを3つ集めることで素敵なプレゼントと交換できるスタンプラリーや医療工学コースによるアイスキャンディジュースの無料配布、学食では、テレビニュースでも取り上げられたカツカレーを試食しながら、ミニコンサートを楽しんでいただきました(おかわりは自由)。オープンキャンパスには、3日間で360名以上の中学生、高校生、保護者の方々にご参加いただきました。本学をよく理解している学生たちが運営に携わり、受付や司会、案内などの役割を果たし、積極的に活動しました。

令和6年度勉学奨励金給付式



12月17日、本学において、令和6年度勉学奨励金給付式が行われました。この奨学金は、長崎総合科学大学後援会からの寄付金を基に設立された奨学金基金をもとに、本学に学ぶ学部学生及び大学院生の勉学を奨励・援助することを目的として、学部学生2年生以上及び大学院生修士課程2年生で学力及び人格が特に優れた者に贈られます。今年度は、工学部工学科の建築学コースから1名、電気電子工学コースから1名、医療工学コースから2名、総合情報学部総合情報学科の知能情報コースから3名、マネジメント工学コースから1名、生命環境工学コースから1名の合計9名に奨学金が授与されました。

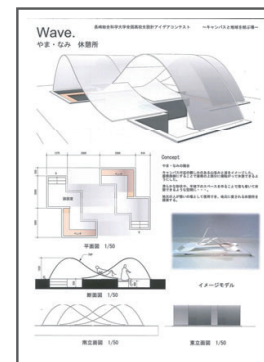
2024仕事研究セミナー WEB ~学生×OB・OG 仕事のカタリ場~



12月4日、本学において2024年度の仕事研究セミナーを行いました。このセミナーでは、県内外で活躍する22社のOB・OGの方々からの話を通じて、大学生活が社会人としてのキャリアに与える影響を学ぶことを目的としています。また、先輩方の社会人としての経験を知ることで、今後の大学生活の意義を再確認し、将来の社会人生活においてその経験がどのように役立つかを考える機会を提供します。黒川学長は「このセミナーを通じて、在学生の皆さんが新たな発見や気づきを得ることを心より願っています。そして、皆さんの今後の活躍を大学全体で支援しています。」と述べました。

2024年度 第27回 全国高校生設計アイデアコンテスト

第27回全国高校生設計アイデアコンテストを開催しました。今回の課題は「キャンパスと地域を結ぶ場」と題して、小さな休憩兼交流施設の提案となっています。応募作品は25点で、例年と比べると、総数が減っているが、日本国内に限らず、海外の高校からも応募があったことはうれしい限りです。作品はどれも素晴らしいものでした。本学の学生と教員による投票、そして教員による最終審査を経て、最優秀賞1点、優秀賞2点、入選5点が選ばれました。応募者全員に感謝の意を申し上げます。(審査委員/李桓+建築学コース教員一同)



▲最優秀賞『Wave. やま・なみ』休憩所
兵庫県立尼崎工業高等学校(3年生) 吉岡 謙輝さん 担当教員/金江 絵里香先生

前代未聞!? 大公開実験

第60回

造大祭

(11月2日、3日)

本学の一大イベントである造大祭に、新型コロナウイルスによる制限が緩和された今年は本格的に人を呼んでみたい。本学らしい本学の良さが出る学祭にしたい。そこで今年は「前代未聞!? 大公開実験」というテーマの下、造大祭を企画しました。これまでの造大祭では、学内にある実験器具や施設で実験を行い、それらを一般のお客様に公開するというのを一度も行ってきませんでした。前例のないことをゼロから作り上げることは決して簡単ではありませんでしたが、その中で実行委員会のメンバー同士が切磋琢磨し合い、造大祭を創り上げていく様子は心動かされるものがありました。直前になり台風の接近により、バタバタすることが多くありましたが、私たちも来場者の皆様も事故なく無事と学祭を終えることができました。また、今年は数年ぶりに大学周辺の企業や飲食店やコンビニ等から協賛を募り、沢山の協賛金をいただきました。造大祭実行委員会一同感謝申し上げます。(総合情報学部総合情報学科マネジメント工学コース 3年 中山 飛鳥)



Topics

NiAS 夢工房「九州夏ロボコン 2024」で優勝!!

9月1日、福岡市の九州大学伊都キャンパスにおいて、九州大学ロボコンチームKURTが企画・主催する「九州夏ロボコン 2024」が開催され、九州内の10大学から13チームが出場し、本学からは、NiAS夢工房の学生6名が参加しました。「私がこのサークルのリーダーになって初めての優勝を果たしました。決勝戦では、どのチームが勝つか分からない緊張感があり、忘れられない経験となりました。大会を支えてくださった皆さん、協力してくれた4年生の先輩、サークルの仲間、そして応援してくれた全ての方々から感謝します。」(知能情報コース3年 吉村 竜(NiAS夢工房))



第11回トマトロボット競技会シニア部門 佐藤研究室「しゅがらぼ」が準優勝

12月6日から8日まで、学研都市内のenPIT農業IoT実習ハウスおよび九州工業大学若松キャンパス(北九州市)において、第11回トマトロボット競技会が実施されました。この競技会は、ロボットによるトマト収穫の速度を競い、開発された技術の農業への導入を目指し、自然と共生するアグリロボットの進展と普及を促進することを目的としています。競技会では、佐藤雅紀研究室の学生を中心に構成された「しゅがらぼ」チームがシニア部門で準優勝しました。このトマトロボットの研究開発は、NiAS(ニアス)プロジェクトの学生グループ「がんばらぼ」によっても行われています。

